

# 平成28年度 住民懇談会の報告

10月25日から10月30日までの間、町内5会場で住民懇談会を開催し、多くの町民の皆さまにご参加いただきました。

今年度の懇談会では、小林町長より地方創生交付金についての状況説明と、脇坂教育長より仮称「ゆめの森公園」の基本計画について説明があり、参加された皆さまからご意見・ご質問等を伺いました。

各会場での意見・質疑の中から主なものをご報告します。

## ● 地方創生交付金事業について

3つの事業（観光I-T、農業I-T、健康増進I-T）について国から平成28年度分の補助金交付決定がされたことに伴い、9月議会定例会において町の補正予算に計上するための審査が行われましたが、結果は賛成3、反対7で否決されました。

そこで住民懇談会を通じ、地方創生の事業内容についてご説明させていただき、町民の皆様からのご意見を伺いました。

◆ I-T事業の推進には賛成です。個人ではありますがI-Tで来られた方、支援員を含めて有志で歓迎会を開いたことがあります。定住ということだけでこれだけ素晴らしい空気、環境の中で仕事ができるということが人から羨ましがられる事業であるということに熱意を持っていました。人口のことを考えると落合地区はほとんど人が減っている、町に波及しなければいいなと思ってい

る。新しい方法を取り入れないと打開できないと感じている。

◆ 町長が講演で力を入れて話した件は議会で否決をされた内容をもう一度復活させないといけないというように聞いた。特に農業I-Tは何とかしたいと伝わってきました。（議会から反対されたことについて）議会、あるいは議員と町職員、町長との間のコミュニケーション不足が多分にあると思う。町長は反省していたが、ここはもう一度議会と向き合って腹を割って話をしていくということしかない。議会は住民の代表の議員で構成しているので、何度も話し合うのが良いと思う。

◆ 私はI-T新規就農者で、切り花の菊の栽培をしています。農業I-C-Tの概要は情報推進技術を活用して農業のマニュアル化、行程管理、JAとの連携による営農指導強化、戦略的出荷管理といったところになると理解しています。この事業は富士見町の農業産業化の点で力を発揮します。そして富士見町の発展に貢献します。是非農業I-C-T化を推進してください。（反対があったことについて）富士見町の地方創生、すなわち町の存続、持続的発展においてこの農業I-C-T事業の代わりに優先すべき代案があったのか。地方創生に係る案件においてほかに優先事例が無い状態においてほかに優先は「富士見町は現状のまま何の手を打たなくても存続、発展していける」と考えているということ。富士見町の現状認識をそのようにとらえている人

を支持することはできない。

◆ 町議会で反対7賛成3だったことについて、町議員は私たちの代表なのでなぜ反対か、をもう一度話をしてもらいたい。町民に話をしてもらおうのはいが行政と議会が両輪だと思っているので膝を交えて話をしてもらいたい。

## ● 仮称「ゆめの森公園」について

町民センター前にある多目的グラウンドとその横にある現在のゆめの森公園を整備して、新たな「ゆめの森公園」の建設を計画しています。

Q 分水の森公園（渡辺別荘跡地）との棲み分け方は？

A 分水の森公園はできるだけ自然公園にするとして町が取得しました。昔の植生、鳥が生息できるように形を残して分水の森利用検討委員会で市街地に昔を偲ぶ公園を残そうと決定しました。一方でゆめの森公園は、子育て世代や高齢者を含めた、みんなで集うコミュニティ作りの公園ということで考えています。

Q ゆめの森公園の建設にかかる費用は？

A また、年間にかかる維持費は？  
建設費は1億5千万円を見込んでいます。年間維持費は、公園にプレイヤー兼管理者を置く予定です。その方の人件費を含めて450万



円を予定しています。

**Q** この公園整備によって潰れる多目的の広場は農業祭の駐車場など、駐車場としての利用価値が大きいと思います。駅裏の一等地なので何か他の利用法があるのでないでしょうか。公園としてなら別の場所に整備してもらっても良いと思います。

**A** 現在の多目的広場は駐車場や以前は雪捨て場としても使われましたが、雪捨て場は別の場所に捨てることが決まり、農業祭の時の駐車場利用は中学校の駐車場を使うということで解決できる話になりました。駐車場だけにしている場所なのか、ということも考えなければいけないと思います。

**Q** 商工会議所から公園側へ渡る所に信号機は付きますか？スピードを出す車がいるし、学校から道を渡る子供が増えて危ないと思う。

**A** 公園前の北通り線という都市計画道路を南に延長する計画があります。そこに大きな交差点を作るのでそこに信号機を付ける予定です。その近くのこの場所に信号を付けるかどうかはもう少し全体を見ながら考えていかなければいけません。同様のご意見を頂いていますので検討の材料にさせていただきます。

**Q** 公園横のノ沢について、計画では蓋をして駐車場になってしまいますが、蓋をすることにより大雨が降るとか災害があった時に中で雑木等に

より沢が詰まってしまい、それが元で更に災害が起きてしまうことが予測されるので配慮して欲しい。

**A** 北通り線側の上流部分に降った雨が30年に一度の確立で降る大雨に対しても余裕のある断面で設計をしてきたと考えるので、蓋をしても災害には耐えられる判断をしました。下流でもJR下で断面が決定しているので、この二つの断面でこれまでの豪雨災害に耐えてきたという判断をすれば、その間にある部分に蓋をしても問題はなないと考えているところです。しかし中に材木等が詰まることにより、人災も起こることを十分考えて、この部分に蓋をかけることを慎重に考えたいと思います。

### ●その他質疑応答

**Q** 今年は富士見町の「ふるさと納税」が趣向を変えてスタートしました。現在の状況は？

**A** 工業製品、野菜ジュース、お酒や特産野菜など富士見町にゆかりのある製品や特産品を用意しました。6月から開始して、非常に多くの方からご寄附をいただいています。



**Q** 一般移住に対してセミナーを行っているようですがどのような内容、頻度で行っているのでしょうか。

**A** 東京の銀座長野（アンテナショップ）にスペースがあり、今年は2回開催しました。富士見町単独ではなく他市町村と一緒に相談ののついでです。その他に、今年から諏訪地方は諏訪の宅建協会に365日開設する相談窓口を長野県と諏訪6市町村共同で開設し、情報発信や外からの問い合わせに答えられる体制を取っています。

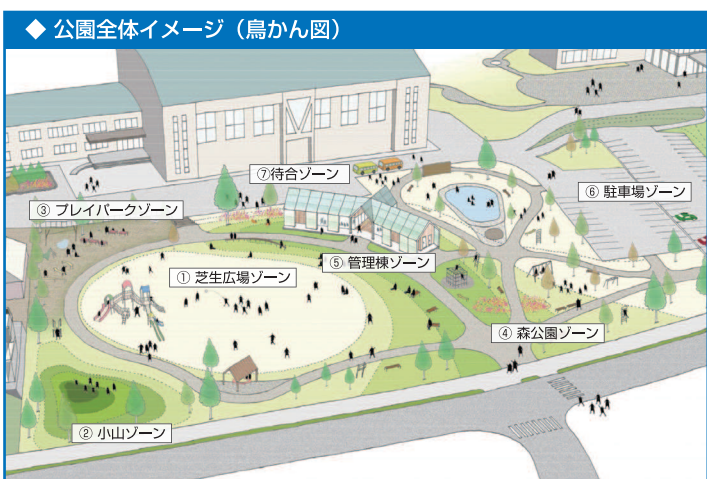
実際に移住を検討される方はそこで情報を得て、それぞれの市町村に向向くようです。また、テレワークの移住者については空き家の提供が課題になっています。集落の方にもご協力いただき、空き家物件を教えて欲しいと思います。

**Q** 富士見町内の各メガソーラー計画の進捗状況について教えてください。

**A** ①上葛木区中心のソーラー計画については、長野県の改正されたアセスメント条例の2種事業に該当し、アセスメントを着手するという事になるかと思いますが、町長の方で説明を求めようとしている段階です。②広原財産区の中学林で計画されているメガソーラーですが、これは東京電力へ売電する前提で計画を進めています。発電事業者が東電への系統連携の検討をしているようです。③田端の森地区の下葛木区が所有している土地への設置が検討されているようです。④境小學校近くのトンネルとの間の町道より南側の林の中の案件ですが、事業者が一年以上前に相談に来て具体的な計画図（概略のもの）を見せてもらって町側と相談しました。町側で心配する事項があったので、その点をきちんとした上で一度相談に来てくださいと伝えてあります。⑤入笠湖付近のメガソーラーの計画については過去に説明会がありました。具体的に防災上どうするのか、また道路の問題など、町のそれぞれの所管の中で協議をしている最中です。

この他にもたくさんの貴重なご意見をいただきました。詳細については町ホームページをご覧ください。

皆様からお寄せいただいたご意見を参考に、これからもよりよい町づくりを進めてまいります。



◆公園全体イメージ（鳥かん図）